



市制施行 70 周年
from 1954 to 2024

躍進する羽島市



羽島市の2大交通拠点

活力増大

人が住み
企業が進出





東海旅客鉄道 岐阜羽島駅

近年、駅周辺では宅地化が進み、コンビニの出店や人気の飲食店が集まったモールが形成されるなど、賑わいが創出されています。公示地価や基準地価では、駅・インター周辺の土地が価格の上昇率上位地点にランクインするなど、土地の利用需要が高まっています。

名神高速道路 岐阜羽島 IC

インターチェンジ周辺では、大型の企業誘致が実現しました。商業施設をはじめ、製造業・物流倉庫など、産業の集積が進んでいます。名古屋市からも至近のビジネス好立地であり、多くのヒト・モノが集まることから、県外からも注目されるエリアです。





稼働は令和 9 年度

羽島市・岐阜市・岐南町・笠松町

次期ごみ処理施設 建設工事始まる

平成 18 年、岐阜羽島衛生施設組合は、次期ごみ処理施設の建設候補地を「羽島市南部北東地域」と発表しましたが、以降の用地交渉は難航。硬直した事態を解消するため、平成 27 年に新たな建設用地の公募を開始するものの、建設候補地の決定には至りませんでした。

一方で、未利用地の活用方策が課題となっていた平方第二土地区画整理組合による土地区画整理事業が進展。平成 28 年、同土地区画整理組合から次期ごみ処理施設誘致の要望書提出を受け、新たな建設用地が「福寿町平方地区」に決定されました。



財政の「安定化対策」

将来世代へ負担を残さない財政運営を行うため、歳出削減や受益者負担の適正化、職員給料の削減、建設地方債発行額の抑制などを進めてきました。成果の指標となる財政調整基金（市の貯金）の残高は、予測した推計値を毎年上回っています。



事業仕分け

外部有識者と市の担当者が事業のあり方や課題等について公開の場で議論を行う「事業仕分け」を実施しました。受益者負担が適正かなどの観点から市民代表者が事業を評価することで、市政への参画が進むきっかけとなりました。

次代に繋がる まちづくり

包括外部監査

包括外部監査は、行政運営の適切さを公認会計士等の外部有識者が監査する制度で、中核市以上の規模で実施が義務付けられています。羽島市は同制度を導入し、全国市民オンブズマン連絡会議から「措置模範賞」を受賞しました。



タウンミーティング

高度化・多様化する行政課題について、市民の皆さまと問題意識を共有した上で意見交換を行うタウンミーティングを開催しました。市の施策など幅広いテーマで議論し、いただいた意見を市政運営の改善に結びました。

羽島の新たなランドマーク

新庁舎開庁

3ないサービスの実施

迷わない／歩かない／書かない

令和3年、60年ぶりの大型事業である市役所新庁舎が開庁。施設の老朽化、分散庁舎が解消されました。1階に、総合窓口等を開設。迷わない・歩かない・書かない窓口サービス

を実現するなど、市民が利用しやすい庁舎を目指します。また、窓口業務の実施効果を高めるため、平日の窓口延長を廃止し、休日窓口を月2回に増やしました。





ぎふ羽島駅前フェス

竹鼻商店街で開催されていた「なまずまつり」を岐阜羽島駅前でリニューアル。市内外から大勢の人が訪れる人気の一大イベントです。



キッチンカー

市内各種イベントの開催時にキッチンカーが集結。ホットサンド、バーガー、クレープ、焼き菓子、コーヒーなど盛りだくさんです。

多彩なイベント 賑わい創出



竹鼻まつり

毎年5月3日に行われる竹鼻まつりは、八剣神社の例大祭です。大幕・見送り幕をまとった山車が、力強く町中を練り歩きます。



ふじまつり

樹齢300年以上といわれる「竹鼻別院のフジ」(県天然記念物)は、薄紫色の花が天蓋からしなだれ、境内に甘い香りが広がります。



はしま de マルシェ

「ひつじサミット尾州」に合わせて開催する秋のイベントです。不用品や規格外品の販売、地元のグルメをマルシェ形式で販売します。



背割堤さくらまつり in はしま

国営木曽三川公園桜堤サブセンターで開催される春のイベントです。お花見トラクターなどで、背割堤の桜並木を楽しみましょう。

羽島の歴史

1954年(昭和29年)	羽島市制施行	1992年(平成4年)	木曽川堤外正木運動場が完成
1955年(昭和30年)	国民健康保険羽島病院が開院		市文化協会が設立
1956年(昭和31年)	濃尾大橋が開通	1993年(平成5年)	中央中学校が開校
1959年(昭和34年)	市役所旧庁舎が完成		木曽川ふれあいの里広場が完成
1960年(昭和35年)	総合グラウンドが完成	1996年(平成8年)	歴史民俗資料館・映画資料館が完成
1961年(昭和36年)	集中豪雨により多大な被害が発生	1997年(平成9年)	「平和都市」を宣言
1962年(昭和37年)	し尿処理場が完成		市国際交流協会が設立
1963年(昭和38年)	羽島大橋が開通	1998年(平成10年)	文化センターが完成
1964年(昭和39年)	勤労青少年ホームが完成	1999年(平成11年)	公共施設巡回バス運行開始
1965年(昭和40年)	第20回岐阜国体のソフトボール競技会場となる	2000年(平成12年)	浄化センターが完成
1966年(昭和41年)	「あかるい青少年都市」を宣言		県立看護大学が開学
1968年(昭和43年)	市民会館が完成	2001年(平成13年)	名鉄竹鼻線が一部廃線
1969年(昭和44年)	濃尾大橋無料開放	2002年(平成14年)	市営斎場が完成
1970年(昭和45年)	駅南繊維卸売団地が完成	2003年(平成15年)	岐阜広域合併協議会が発足
1972年(昭和47年)	市民プールが完成	2004年(平成16年)	合併についての意思を問う住民投票を執行
1973年(昭和48年)	柔剣道道場が完成		合併反対が過半数を占める
1974年(昭和49年)	老人福祉センターが完成	2005年(平成17年)	福井県南越前町と友好連携協定を調印
1976年(昭和51年)	馬飼大橋が開通	2006年(平成18年)	名鉄竹鼻線高架事業が完成
1978年(昭和53年)	市民の森羽島公園が完成	2007年(平成19年)	新コミュニティバス運行開始
1979年(昭和54年)	南濃大橋が開通	2009年(平成21年)	資源物ストックヤードが完成
1980年(昭和55年)	全日本女子ソフトボール羽島市大会が開催		女性消防隊が全国操法大会で優勝
1982年(昭和57年)	名鉄羽島新線が開通	2011年(平成23年)	防災ステーションが利用開始
1983年(昭和58年)	岐阜羽島インターチェンジが開通		市運動公園が完成
1984年(昭和59年)	尾濃大橋が開通	2012年(平成24年)	ぎふ清流国体・ぎふ清流大会でソフトボール競技を開催
1985年(昭和60年)	市観光協会が設立	2014年(平成26年)	羽島中央公園が部分開園
1986年(昭和61年)	南部学校給食センターが完成	2015年(平成27年)	国営木曽三川公園桜堤サブセンターが開園
1988年(昭和63年)	大藪大橋が開通	2016年(平成28年)	県立羽島特別支援学校が開学
1989年(平成元年)	「35時間フォアソンin羽島」を開催		次期ごみ処理施設の建設用地決定
1990年(平成2年)	第1回藤まつりを開催	2021年(令和3年)	岐阜連携都市圏に加入
	市立図書館が完成		市役所新庁舎が完成
1991年(平成3年)	「生涯学習都市」を宣言	2024年(令和6年)	市制施行70周年を迎える

羽島市制施行70周年記念